



島根県水産技術センター

令和7年6月30日発行

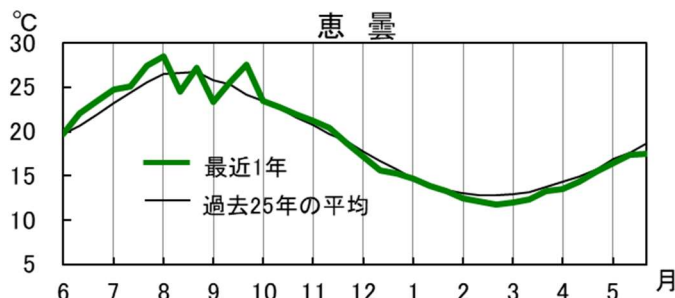
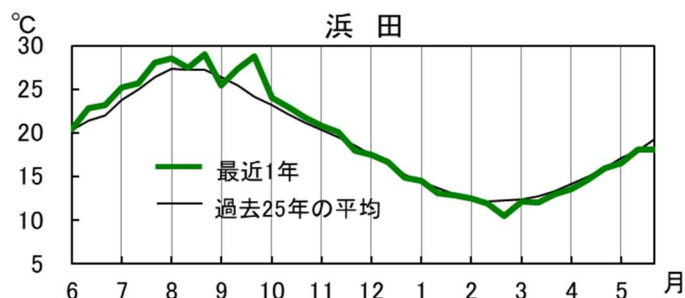
トビウオ通信 漁況速報 (6月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《5月の海況》



5月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや低め	17.6℃	-0.6℃	やや低め	17.2℃	-0.7℃
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	かなり低め			かなり低め		



《5月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の1割、サバ類は平年の2.1倍、マアジは平年の1割でした。隠岐地区ではマイワシ及びサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は121トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは9,706トンで平年の3.2倍、サバ類は4,092トンで平年の1.1倍、マアジの漁獲はありませんでした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカが主体で1隻1航海当りの漁獲量は110kgとなり平年の5割でした。西郷地区(属人5トン以上)でもスルメイカが主体で1隻1航海当りの漁獲量は221kgとなり平年の1.9倍でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は8.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の6割、アナゴ・ハモ類は平年の9割、マダイは平年の1.6倍でした。その他、アマダイ類は平年の1.5倍と好調でしたが、アンコウ類およびマトウダイは平年の5割、ケンサキイカは平年の4割、ムシガレイ、アカムツおよびスルメイカは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではニギス、ソウハチ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は171トンでした。1統1航海当りの漁獲量は748kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ニギスは平年の1.5倍、ソウハチは平年の7割、アナゴ・ハモ類は平年の2.0倍でした。その他、マダラは平年の4.6倍、マフグは平年の4.3倍、ヤナギムシガレイは平年の2.1倍と好調でしたが、ムシガレイは平年の9割、アカムツは平年の8割、アンコウ類およびヒレグロは平年の5割でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は42.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジが平年の2.2倍、ブリが1.2倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は37.3トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の27倍、マアジが1.9倍でした。隠岐地区ではブリ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は43.1トンで前年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.1倍、サバ類は平年の16倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではブリ、スルメイカ、アマダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.4kgと平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.6倍、スルメイカは平年の1.9倍、アマダイ類は平年の1.4倍でした。石見地区ではアマダイ類、ヒラマサ、イサキ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.2kgと平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アマダイ類は平年の9割、ヒラマサは平年の2.1倍、イサキは平年の9割でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類、スルメイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は33.9kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.0倍、カサゴ・メバル類は平年の1.0倍、スルメイカは平年の1.7倍でした。

【令和 7 年 5 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	13,804 トン	121%	149%	121 トン	143%	163%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	4.1 トン	193%	27%	110 kg	125%	52%
	西郷	スルメイカ	23.9 トン	452%	183%	221 kg	289%	185%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、マダイ	116 トン	61%	50%	8.3 トン	83%	69%
小型 底びき網	大田	ニギス、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	171 トン	109%	86%	748 kg	109%	97%
定置網 (大型)	出雲	マアジ、ブリ	598 トン	70%	127%	42.7 トン	70%	123%
	石見	サバ類、マアジ	149 トン	248%	209%	37.3 トン	248%	197%
	隠岐	ブリ、サバ類	129 トン	167%	126%	43.1 トン	167%	126%
釣り・縄	出雲	ブリ、スルメイカ、アマダイ類	41.4 トン	154%	110%	26.4kg	148%	110%
	石見	アマダイ類、ヒラマサ、イサキ	21.5 トン	108%	93%	19.2 kg	113%	107%
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類、スルメイカ	24.7 トン	143%	114%	33.9 kg	138%	147%

※ 平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業の CPUE は 1 経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約 20 年に 1 回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約 10 年に 1 回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約 4 年に 1 回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約 2 年に 1 回の出現確率である±0.5℃程度の高さ